

地域と学校をつなげる活動

さくサポ通信

2025年6月

NO.13

はじめまして!! 瀬戸特別支援学校(さくらんぼ学園)の
地域コーディネーター 中島 真佐美と山崎 清美です。
令和3年度より光陵中学校ブロックでコミュニティ・スクールが
始まり5年目となりました。今年度も子どもたちをまん中に
地域と学校をつなぐ学校の窓口 さくらんぼサポートステーション
(通称:さくサポ)として活動していきます。よろしくお願いいたします!



第1回学校運営協議会

光陵中学校ブロック連絡会 5月12日(月)

令和7年度第1回学校運営協議会が瀬戸市文化センターにて開かれ、会長に瀬戸つばき特別支援学校の倉田校長先生、副会長に本校 佐藤校長先生が就任されました。佐藤校長先生より令和7年度の学校目標について、「挑戦」をキーワードに防災や防犯、キャリア教育の推進や卒業後の就労先の確保、また、令和10年度の新さくらんぼ学園に向けて、家庭や地域と連携して社会に開かれた魅力ある学校環境づくりを進めていきたいと説明がありました。

後半の光陵中学校ブロック連絡会では原山小学校、萩山小学校、八幡小学校、瀬戸特別支援学校、光陵中学校の学校運営協議会委員が集まり、各校の協議会の内容を共有、さらに「子どもたちの登下校について」各校で問題点を話し合い、学校間で共有しました。令和8年度にはみつば小学校の開校も控えており、地域全体で子どもたちの安全を考えていかなければならないといった活発な意見交換が行われました。



学校運営協議会



倉田会長・佐藤副会長



光陵中学校ブロック連絡会

今回は活動をもっと身近に感じていただけるよう それぞれの役割について、わかりやすく説明を していきたいと思います



Q.コミュニティ・スクールってなに？

→学校と地域が協力して、より良い学校づくりを目指す仕組みです。

Q.どうしてコミュニティ・スクールが必要なの？

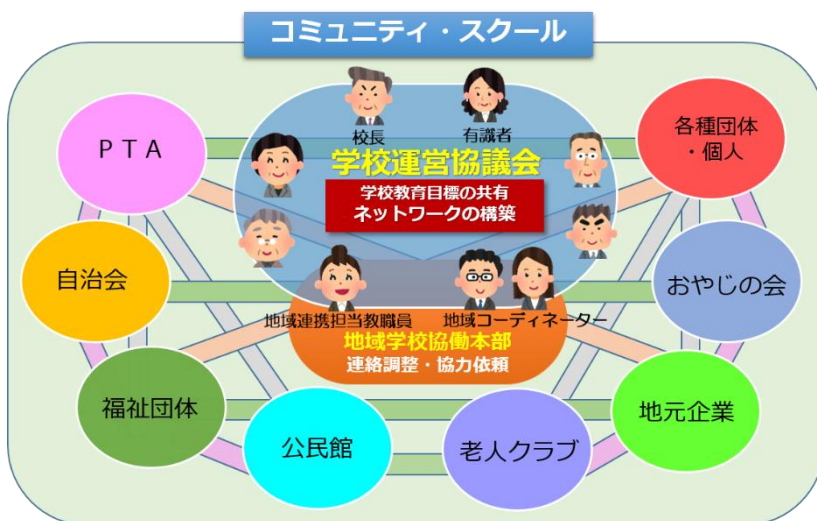
→地域の方の知恵や経験を教育に活かすことにより、子どもたちが広い視野で学ぶことができ、成長を促すこととなります。また、地域全体で子どもたちを育てるという意識を持つことにより、安全で安心な環境を整備することで、より良い地域社会を築くことにもつながります。

Q.学校運営協議会ってなに？誰が委員になるの？

→地域の方や保護者などから構成され、学校の目標や方針を話し合ったり、承認したりします。
今年度は校長先生、教頭先生、事務長、近隣の特別支援学校の校長先生、病院の先生、公民館の方、PTA会長、家庭教育委員の方が委員として参加していただいています。

Q.地域学校協働本部ってなに？

→学校と地域が連携・協働して、子どもたちの学びや成長を支えるための組織です。私たち地域コーディネーターはここに位置し、地域連携担当教職員の大野教頭先生、阿部教頭先生とともに学校と地域をつなげる活動をしています。



発行

問い合わせ先

さくらんぼサポートステーション
地域コーディネーター 中島・山崎

瀬戸特別支援学校（さくらんぼ学園）
地域連携担当職員 大野
TEL 0561-76-4391

さくらんぼ学園
ホームページ

